

科目名称：	ボランティアと社会	
担当者名：	鴨野 直敏	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
ボランティア活動は、個人の自由意志に基づき、その技能や時間等を進んで提供し社会に貢献することであり、ボランティア活動の基本的理念は自発性、無償性、公共性、率先性にある。本講では、講義形式によりボランティアの思想と歴史、そして役割やその意義、今日的課題に至るまで、具体的事例を織り交ぜながら学習する。		
授業の達成目標・到達目標		
ボランティアの思想と歴史、そして役割やその意義、今日的課題に至るまで理解できる。また、ボランティアの具体的事例を取り入れながら学ぶことで、実際に自分が活動するための参加意欲を高めることができる。大学生とボランティアという関係性について、その意義を学ぶ事が出来るようになる。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	90			10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション、何をもってボランティアと言えるのか学生間でグループワークする。	ボランティア活動の意義と活動内容について調べておくこと	30分
第2回 恤救規則、ボランティア元年について三人一組で議論しそのメリット・デメリットについて発表する。	前回授業で実施した内容(ボランティアについて)の復習	30分
第3回 現代社会とボランティア 我が国のボランティア活動者数と活動内容の実態について学生間で議論する	前回授業で実施した内容(恤救規則, ボランティア元年)について三人一組になって議論しそのメリット・デメリットについて発表する)の復習	30分
第4回 大学生とボランティアについて、ボランティアニーズとディマンドについてグループワークする。	我が国で何故、ボランティア人口が増加しているのか、その要因をレポートにする。	30分
第5回 阪神・淡路大震災のときにボランティアがどのように活躍したのか三人一組になって議論する。	阪神・淡路大震災(ボランティア元年)に何故、多くのボランティアが駆けつけたのかレポートにしておく。	30分
第6回 ボランティアから捉える現代社会について学び、学生間で有償・無償の意味について考える。	有償・無償活動の意義と意味について再度考え、スーパーボランティアの存在をレポートにして考える。	30分
第7回 ボランティアと関連領域ボランティアセンターの活動と意義について学生間で意見統一し発表する。	社会福祉協議会を中心にした、ボランティアセンターについて、その意義をレポートにする。	30分
第8回 ボランティアと関連領域 特定非営利活動法人(NPO)と民間非政府組織(NGO)の意義について議論する	NPOとNGOには、どのような種類があるのか、ネットより調べておく。	40分
第9回 ボランティアと関連領域、企業の社会貢献活動(CSR) 学生団体、各種団体について議論する	CSRとは何か。メセナや1%クラブについて、ノートにまとめておく。	30分
第10回 学生に実際のボランティアのDVDを視聴して頂き具体的内容を議論する。①	視聴したDVDの感想をレポートにしてまとめておく。(どのようなニーズがあったのか)①	50分
第11回 学生に実際のボランティアのDVDを視聴して頂き具体的内容を議論する。②	視聴したDVDの感想をレポートにしてまとめておく。(どのようなニーズがあったのか)②	50分
第12回 人道支援とボランティアについて、海外の事例を基にその意義について議論する。	人道支援の種類と意義について、レポートにまとめておく。	30分
第13回 災害支援ボランティア(東日本大震災でのボランティアの役割)で大切な点について三人一組で議論する	東日本大震災における、ボランティアの活動について、持論を展開できるようにしておく。	30分
第14回 福祉教育とサービスマーケティングについて学び、何をもって福祉教育と言えるのか議論する。	サービスマーケティングの種類と内容についてレポートにしておく。	30分
第15回 まとめ。	全ての授業範囲を復習	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、90%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への貢献・積極的態10%。

課題に対するフィードバック

試験は希望者全員に返却する。コメントカードに対しては次の授業時に適切にお答えする。

教科書・参考書

教科書:「一番はじめのボランティア」 樹村房
参考書:「福祉サービス論-ボランティア・NPO・CSR-」 学文社